

令和

提出順	8	発言順	8	平成 元年 6月 日
				午前・午後 3時00分受領

( 3枚中No.1 )

令和1年6月4日

安曇野市議会議長 小松 洋一郎 様

安曇野市議会議員

竹内 秀太郎

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和1年安曇野市議会6月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	25分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
質問事項	入浴料金割引券交付事業の見直しについて		
質問の要旨 (具体的に記載してください)			
1、この事業の年度当初予算をみると、平成29年度38,047千円、30年度30,024千円、令和1年度21,600千円と大きく減少している。 そこで、計画通り実績が上がらなかった理由や原因について伺う。			
2、この事業の実績について具体的に伺う。 ① 平成28年度の保養施設等入浴券交付事業の利用率は43.62%と聞いているが、この事業の対象者に占める利用率について、当初計画と29年度、30年度の実績について ② 使用枚数5枚以下と21枚以上の使用者数とその比率について ③ 21枚以上使用者について、入浴施設からの距離あるいは居住地に特徴はあるか			
3、平成30年6月議会で、私の一般質問に対して、当時の福祉部長は市民アンケートを実施すると答弁しました。そこでそのアンケートについて伺う。 ① アンケートの質問項目から、私が質問した「枚数の多い割引券と枚数の少ない無料券を市民が選択する方法」の賛否を外した理由について ② アンケート結果を公表しなかった理由について			

合記

提出順	8	発言順	8	平成 元年 6 月 4 日 午前・午後 3 時 00 分受領
-----	---	-----	---	-----------------------------------

( 3 枚中 No. 2 )

令和 1 年 6 月 4 日

安曇野市議会議長 小松 洋一郎 様

安曇野市議会議員

竹内 秀太郎

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 1 年安曇野市議会 6 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
質問事項	入浴料金割引券交付事業の見直しについて		

③ アンケート結果からこの事業の見直し、改善策について分かったことは何か

4、平成 30 年 6 月議会で、入浴料金割引券を利用している市民の声として、交通手段がないので「あづみん」の特別料金対象者にできないか要請があり質問しました。政策部長は特別料金の設定は考えていないと答弁されました。

アンケート結果では、高齢者の健康及び外出機会の増進の方策として「交通手段の確保事業」がダントツでした。そこで、福祉部の予算で入浴券に「あづみん」の補助制度の創設を考えられないか伺う。

5、市長は、昨年 3 月定例会で、データを分析して、どういった方法がよいか検討すると言われました。実績から市民のニーズは、枚数が多いだけではないことがはっきりしました。そこで、私が当初から提案している「枚数の少ない無料入浴券と枚数の多い割引入浴券の 2 種類から、市民が自ら一方を選択する方法」を来年度は是非実施してみたらどうでしょうか。市長の決断を伺う。

令和

提出順	8	発言順	8	平成元年6月4日
				午前・午後 3時00分受領

( 3枚中No.3 )

令和1年6月4日

安曇野市議会議長 小松 洋一郎 様

安曇野市議会議員

竹内 秀太郎

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和1年安曇野市議会6月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
	担当部長 <input checked="" type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input checked="" type="checkbox"/> 商工観光部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
質問事項	しゃくなげの湯を例に収益施設の指定管理者制度について伺う		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

◎ 平成31年3月定例会で、指定管理者制度について質問したが、時間の制限で質問出来なかった点を中心に、しゃくなげの湯を例に具体的に伺う。

1. 募集要項の中で示す最低納付額の算出の基本は、施設建設時の一般会計からの繰入金を、施設の耐用年数の範囲内で償還するという考え方でよいか伺う。(建設計画を審議していた時に、当時の部長は市の一般会計からの繰入金は、指定管理者からの納付金で賄えるから、将来的に市の負担はないと説明していた)

2. 償還期間中に工事代金等発生した時は、どのように考えて、どの様に処理するのか。納付金は変動するのか。

3. しゃくなげの湯の納付金の算定根拠について、誰がどんな検討をして28年度から29年度は全額免除、30年度 $\frac{2}{3}$ 免除、31年度は $\frac{1}{3}$ 免除にしたのか。

4. 当初計画より営業実績が良かった場合に、指定管理者の経営努力によるものだけか、当初計画の予想が正しかったか検証する必要はないだろうか。そして、協定書の中で、指定管理者と市が納付金をプラス方向に協議できる内容にしておくことが必要ではないか。市民目線で考えた時に妥当な内容と思うが、今後、協定書の見直しについて伺う。